

神社庁総会



物故神職慰霊祭



表彰式



本庁幣授与



庁長挨拶

7月17日、熱田神宮会館において県内神職・総代327名が出席して恒例の神社庁総会が開催された。

熱田神宮御垣内参拝に続き、名古屋第一支部員の奉仕により物故神職慰霊祭が斎行された。続いて神職功労者として知西支部青木由記子氏を始め9名が表彰された。

次いで本庁幣伝達が行われ、小串和夫庁長より、県内3地区を代表して名古屋第一支部・半田支部・岡崎支部の3支部に本庁幣が手渡された。

次いで総会に移り、神宮選擇、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和の後、小串庁長より「本日は、名古屋第一支部の支部長始め女子神職4名のご奉仕により慰霊祭が斎行された、その姿は猛暑の中に一服の清涼をもたらしたようであった。本年は遷宮を迎える年であり、今夏はお白石持で多くの方々が神宮を訪れるので健康に留意して参加して頂きたい。また、神宮大麻は次の遷宮を支える原資となるので今後とも皆様方のご協力を賜りたい」と挨拶。続いて議事に移り、庁長を議長に議事が進行した。